



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月28日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3920 URL https://www.ibc21.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス統括部長 (氏名) 太田 祐樹 TEL 03-5117-2780  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月29日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	920	5.0	29	△81.6	18	△88.7	△225	-
2019年9月期第2四半期	876	-	163	-	163	-	106	-
(注) 包括利益	2020年9月期第2四半期		△224百万円 (-%)		2019年9月期第2四半期		104百万円 (-%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	△40.93	-
2019年9月期第2四半期	19.09	18.85

- (注) 1. 2019年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。  
 2. 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2020年9月期第2四半期	2,351	1,361	57.9	
2019年9月期	2,676	1,627	60.8	
(参考) 自己資本	2020年9月期第2四半期	1,361百万円	2019年9月期	1,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期（予想）	-	-	-	-	-

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 2. 2020年9月期第3四半期以降の配当については、現時点では未定であります。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	5,713,600株	2019年9月期	5,707,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	194,159株	2019年9月期	154,159株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	5,519,671株	2019年9月期2Q	5,556,056株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会について)

四半期決算補足説明資料については、2020年6月上旬に公表を予定しております。また、四半期決算説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、中止とさせていただきます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦による中国経済の減速、海外の不安定な政治動向や地政学リスクが与える影響の懸念に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う世界経済への不安の高まりにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

情報サービス業界においては、サイバーセキュリティ強化といった社会的な要因によるITインフラ投資が増加傾向にあり、また、企業においては、デジタルトランスフォーメーション（DX）に対応可能な環境整備を推進する動きが活発化してきております。

当社は、こうした流れの中で、オンプレミス（自社運用）からクラウド、もしくはハイブリッド運用のニーズに対応し「ITコストの最適化」及び「IT運用管理の効率化」に寄与する、自社開発のネットワークシステム性能監視／情報管理ツール「System Answerシリーズ」の機能拡張及び販売・サポート、パートナー企業との連携強化を継続し事業を展開しております。また、24時間365日有人監視サービス「SAMS」等の顧客ニーズに合致したサービス提供や、ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス「kusabi™」など、成長分野における取り組みも推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、当社売上高が増加した他、前年同連結累計期間では連結対象ではなかった株式会社サンデーアーツの売上も加わり、売上高は920,231千円（前年同期比5.0%増）となりました。

損益面では、当社のサービスラインナップの多様化により売上総利益率が前年同期比で低下しましたが、販管費を人員及び社内システム投資等に絞ったことで、営業利益は29,966千円（前年同期比81.6%減）、また、経常利益は、持分法による投資損失の計上により18,477千円（前年同期比88.7%減）となりました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて連結子会社2社の今後の事業計画の見直しを行い、将来の収益見通しと回収可能性を勘案した結果、主にiChain株式会社のソフトウェア及びソフトウェア仮勘定117,015千円及び株式会社サンデーアーツに係るのれん85,808千円を減損損失として計上する等、204,696千円を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は225,901千円（前年同期は106,077千円の四半期純利益）となりました。

当社グループは、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、当社グループの売上高の大半を占める当社のネットワークシステム監視関連事業に係る販売実績を提供区分別に示すと、次のとおりであります。

ライセンスの販売については、情報通信業、製造業を中心に新規案件が増加しましたが、ライセンス更新時に次世代MSPサービスSAMSへの移行もあったことから全体では微減となりました。また、サービスの提供については、システムインテグレーション案件が堅調であった他、次世代MSPサービスSAMS案件の増加、大型のISAS（IBCセキュリティアセスメントサービス）案件により大幅に伸長しました。その他物販等については、前期にあったPC等納入大型案件が減少した一方で、セキュリティ関連商材の売上が増加した他、kusabi™関連の売上もありました。その結果、ライセンスの販売については売上高481,641千円（前年同期比5.7%減）、サービスの提供については売上高196,066千円（前年同期比30.2%増）、その他物販等については売上高185,694千円（前年同期比1.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,351,294千円（前連結会計年度末は2,676,954千円）となり、325,660千円減少しました。これは主に、現金及び預金が92,660千円、売掛金が29,756千円、のれんの減損処理等により106,483千円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の減損処理等によりその他の無形固定資産が59,687千円、それぞれ減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は989,318千円（前連結会計年度末は1,049,362千円）となり、60,044千円減少しました。これは主に、未払法人税等が70,498千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,361,975千円（前連結会計年度末は1,627,591千円）となり、265,615千円減少しました。これは主に資本金及び資本剰余金が新株予約権の行使による新株の発行に伴いそれぞれ900千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い、利益剰余金が225,901千円減少、自己株式の取得に伴い自己株式が43,053千円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、832,384千円となり、前連結会計年度末に比べ92,660千円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は以下のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、49,664千円の収入（前第2四半期連結累計期間は70,560千円の支出）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失186,032千円の計上、仕入債務の減少13,707千円及び法人税等の支払額62,285千円により、それぞれ資金が減少した一方で、減価償却費25,671千円、のれん償却額20,675千円、減損損失203,799千円の計上及び売上債権の減少29,756千円により資金が増加したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、89,742千円の支出（前第2四半期連結累計期間は128,682千円の支出）となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出76,716千円、保険積立金の積立による支出13,800千円により資金が減少したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、52,582千円の支出（前第2四半期連結累計期間は23,506千円の収入）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出11,200千円、自己株式の取得に伴う支出が43,182千円により資金が減少したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けリモートワークやオンラインコミュニケーションの急増に伴うICTインフラ管理に関する当社へのお問い合わせが増加しております。そのため、当社が提供するICTインフラ管理を効果的に実現できるシステム情報管理ソリューションの販売拡大が見込まれます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の影響については依然不透明であることから、2019年11月13日に公表した2020年9月期の連結業績予想を一旦取り下げて「未定」とし、適切な業績予想が開示可能となった時点で改めて公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	925,045	832,384
売掛金	986,702	956,946
たな卸資産	21,939	19,915
その他	38,681	44,409
流動資産合計	1,972,368	1,853,656
固定資産		
有形固定資産	56,063	50,522
無形固定資産		
のれん	192,715	86,231
その他	114,356	54,668
無形固定資産合計	307,071	140,900
投資その他の資産		
その他	344,451	309,215
貸倒引当金	△3,000	△3,000
投資その他の資産合計	341,451	306,215
固定資産合計	704,586	497,638
資産合計	2,676,954	2,351,294
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	95,652	81,944
短期借入金	650,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	25,176	29,340
未払法人税等	70,677	179
受注損失引当金	2,539	—
その他	109,418	138,438
流動負債合計	953,465	899,903
固定負債		
長期借入金	93,924	78,560
繰延税金負債	—	7,991
関係会社投資損失引当金	1,967	2,863
その他	6	—
固定負債合計	95,897	89,415
負債合計	1,049,362	989,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,830	441,730
資本剰余金	418,774	419,674
利益剰余金	947,508	721,607
自己株式	△178,061	△221,114
株主資本合計	1,629,052	1,361,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,263	△537
その他の包括利益累計額合計	△2,263	△537
新株予約権	802	616
純資産合計	1,627,591	1,361,975
負債純資産合計	2,676,954	2,351,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	876,463	920,231
売上原価	224,848	304,898
売上総利益	651,614	615,332
販売費及び一般管理費	488,488	585,366
営業利益	163,125	29,966
営業外収益		
受取手数料	451	949
保険解約返戻金	313	546
消費税差額	—	1,403
その他	43	96
営業外収益合計	808	2,996
営業外費用		
支払利息	397	1,507
株式交付費	60	—
自己株式取得費用	402	129
持分法による投資損失	—	12,176
その他	—	672
営業外費用合計	860	14,485
経常利益	163,073	18,477
特別利益		
新株予約権戻入益	15	185
特別利益合計	15	185
特別損失		
関係会社投資損失引当金繰入額	—	896
減損損失	—	203,799
特別損失合計	—	204,696
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	163,088	△186,032
法人税等	58,992	39,868
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,096	△225,901
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,980	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	106,077	△225,901

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,096	△225,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,725
その他の包括利益合計	—	1,725
四半期包括利益	104,096	△224,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,077	△224,176
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,980	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	163,088	△186,032
減価償却費	13,893	25,671
のれん償却額	—	20,675
減損損失	—	203,799
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,539
関係会社投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	896
保険解約返戻金	△313	△546
持分法による投資損益(△は益)	—	12,176
支払利息	397	1,507
自己株式取得費用	402	129
株式交付費	60	—
売上債権の増減額(△は増加)	△231,391	29,756
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,938	2,023
仕入債務の増減額(△は減少)	16,510	△13,707
前受金の増減額(△は減少)	585	12,969
前払金の増減額(△は増加)	△1,958	△4,225
未払金の増減額(△は減少)	△4,963	62
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,146	10,208
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,986	△8,404
その他	△1,174	4,912
小計	△31,793	109,331
利息の受取額	—	0
利息の支払額	△461	△1,508
法人税等の支払額	△38,306	△62,285
法人税等の還付額	—	4,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,560	49,664
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,012	△844
無形固定資産の取得による支出	△9,471	△76,716
投資有価証券の取得による支出	△109,602	—
保険積立金の積立による支出	△7,617	△13,800
保険積立金の解約による収入	1,021	1,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,682	△89,742
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,700	△11,200
株式の発行による収入	4,200	1,800
自己株式の取得による支出	△226,882	△43,182
その他	△110	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,506	△52,582
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,736	△92,660
現金及び現金同等物の期首残高	901,254	925,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	725,517	832,384

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年9月5日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月1日から2019年10月31日（約定ベース）までの間に自己株式40,000株の取得を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が43,053千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が221,114千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

○税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。